

野生生物学/動物生活環境学

（授業概要）

野生動物学では、主に人と野生動物との生活環境共有について、その課題と対する解決法を理解する。また、そこから我々人間が心がけるべき自然の維持と管理について視索を深める。

動物生活環境学では、人とペットの共同生活について、同じくその課題と対する解決法について考えていく。特に社会の中で、ペットの存在が人と人の摩擦原因とならぬよう、より良い暮らしを模索していく。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

主に野生動物学を主体として講義を進める。現在における人と野生動物の関係を理解することで、自然環境の維持と我々人間の環境に対する責務を十分に修得する。

後期

動物生活環境学を学習する。人とペットのより良い共有環境とは何かを知ると同時に、ペットの生活に対し人が負うべき義務を学び取る

授業計画

（野生動物学）

- 1回 野生動物と野生動物学
- 2回 野生動物の種類と生息分布 / 外来種（1）
- 3回 外来種（2） / 絶滅危惧種とレッドリスト（1）
- 4回 絶滅危惧種とレッドリスト（2） / 生物多様性の保全（1）
- 5回 生物多様性の保全（2） / 鳥獣被害の現状と対策（1）
- 6回 鳥獣被害の現状と対策（2） / 野生動物の救護（1）
- 7回 野生動物の救護（2） / 野生動物の病気・事故
- 8回 動物園・水族館
- 9回 家畜への道

（動物生活環境学）

- 10回 飼育環境整備（1）（法律と基準 / 犬の飼育環境整備）
- 11回 飼育環境整備（2）（犬の飼育環境整備 / 猫の飼育環境整備）
- 12回 飼育環境整備（3）（猫の飼育環境整備 / ペット共生の現状）
- 13回 飼育環境整備（4）（犬・猫の環境整備・管理法1）
- 14回 飼育環境整備（5）（犬・猫の環境整備・管理法2 / シニアペットの暮らし方）
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験返却 解答
- 17回 ペットツーリズム・ドッグラン（1）（現状と実施方法）

- 18回 ペットツーリズム・ドッグラン（２）（ペット同伴宿泊施設 / ドッグランの環境整備）
- 19回 ペットツーリズム・ドッグラン（３）（ペット関連のイベント活動）
- 20回 保護収容施設（１）（動物愛護センター等の役割）
- 21回 保護収容施設（２）（動物収容保護施設での飼養管理）
- 22回 保護収容施設（３）（シェルターの役割とシェルターメディスン）
- 23回 教育・訓練施設（１）（ペット教育の課題と愛玩動物看護師の役割）
- 24回 教育・訓練施設（２）（社会化トレーニング / パピークラス）
- 25回 教育・訓練施設（３）（訓練施設の種類）
- 26回 動物介在教育施設（１）（法律 / 施設の環境整備・管理１）
- 27回 動物介在教育施設（２）（施設の環境整備・管理２）
- 28回 ペット飼育のマナー（１）（必要性和目的 / 歴史）
- 29回 ペット飼育のマナー（２）（地域における飼育マナーの違い / 条例）
- 30回 ペット飼育のマナー（３）（種別教育マナー１）
- 31回 ペット飼育のマナー（４）（種別教育マナー２ / ペット保険）
- 32回 後期期末試験
- 33回 後期期末試験返却 解答
- 34回 動物介在教育について
- 35回 予備日

授業の方法

自作のテキストによる講義。

教材

特になし。学校推薦の参考書程度。

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護学概論

(授業概要)

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取り扱い責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	河島 英二
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3 年	年間単位時間	35

目標

前期

獣医療の歴史と概念、獣医療における動物看護学の理論と特徴について理解を深める。

後期

国家資格としての愛玩動物看護師の誕生への道のりを学び、動物看護の役割と概念について理解する。

授業計画

- 1 回 獣医療の歴史と概念～獣医療の歴史
- 2 回 獣医療倫理 1
- 3 回 獣医療倫理 2
- 4 回 動物看護の歴史と概念 1
- 5 回 動物看護の歴史と概念 2
- 6 回 国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い 1
- 7 回 国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い 2
- 8 回 動物看護理論の成立過程 1
- 9 回 動物看護理論の成立過程 2
- 10 回 動物看護理論の成立 1
- 11 回 動物看護理論の成立 2
- 12 回 動物看護学と高等教育 1
- 13 回 動物看護学と高等教育 2
- 14 回 獣医療における動物看護学の理論と特徴（まとめ）
- 15 回 補講
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験解説
- 18 回 国家資格 愛玩動物看護師誕生への道のり～認定動物看護師の誕生
- 19 回 動物看護学カリキュラムの構築と愛玩動物看護師の誕生 1
- 20 回 動物看護学カリキュラムの構築と愛玩動物看護師の誕生 2
- 21 回 愛玩動物看護師の職能団体 1
- 22 回 愛玩動物看護師の職能団体 2
- 23 回 動物看護とは 1

24回 動物看護とは2
25回 動物看護における倫理1
26回 動物看護における倫理2
27回 動物にとっての福祉・健康・QOL1
28回 動物にとっての福祉・健康・QOL2
29回 看護動物に影響を与える環境要因1
30回 動物病院における動物看護師の役割
31回 動物看護の探求
32回 後期期末試験
33回 後期期末試験解説
34回 国家試験対策1
35回 国家試験対策2

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

EDUWARD Press 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験 80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

獣医師

臨床内科外科実習

(授業概要)

手術や各種検査時の愛玩動物看護師としてのスキルを学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	西野 貴行・楠本 恵美子
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3 年	年間単位時間	35×3 コマ

目標
前期 外科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を習得する。
後期 獣医療現場に出たときに実践できるようこれまでカリキュラムで学んだ知識を実践的に習得する。

授業計画
1 回 授業について、昨年度行った手術・検査について復習
2 回 ネコの保定・採血
3 回 犬の避妊手術
4 回 手術実習
5 回 診察実習
6 回 手術実習
7 回 診察実習
8 回 手術実習
9 回 一斉インターン
10 回 一斉インターン
11 回 診察実習
12 回 手術実習
13 回 診察実習
14 回 手術実習
15 回 診察実習
16 回 前期期末試験
17 回 前期期末試験返却
18 回 手術実習
19 回 診察実習
20 回 手術実習
21 回 診察実習
22 回 手術実習
23 回 診察実習
24 回 手術実習

- | | |
|------|-------------|
| 25 回 | 診察実習 |
| 26 回 | 手術実習 |
| 27 回 | 診察実習 |
| 28 回 | 手術実習 |
| 29 回 | グループワーク作成 |
| 30 回 | グループワーク作成 |
| 31 回 | グループワーク作成発表 |
| 32 回 | グループワーク作成発表 |
| 33 回 | 後期期末試験 |
| 34 回 | 後期期末試験返却 |
| 35 回 | 1 年間の振り返り |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

座学・実習

きょうざい 教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 巻・8 巻

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 しゅつせきりつ 20%（しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

動物医療コミュニケーションⅡ

(授業概要)

クライアントエデュケーション、インフォメーションコンセント、チーム獣医療についての理解、提供ができるようになる。動物病院内の事務的分野の理解、トラブル時の対応について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	寺鼻 友美
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

前期

動物の健康管理の為に必要な情報を提供できるようになる。

コミュニケーション能力の強化を行い、実際に動物病院で行われている実践に近づける。

後期

指導を主体としたインフォメーションコンセントについて理解する。

院内業務について理解し、医療スキル以外の仕事への理解を深めていく。

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 コミュニケーション能力①
- 3回 コミュニケーション能力②
- 4回 ヒヤリハット
- 5回 獣医療面接を用いた事前問診の方法①
- 6回 獣医療面接を用いた事前問診の方法②
- 7回 インターン
- 8回 インターン
- 9回 獣医療面接を用いた事前問診の方法③
- 10回 獣医療面接を用いた事前問診の方法④
- 11回 獣医療面接を用いた事前問診の方法⑤
- 12回 獣医療面接の技法を用いた具体的な対応①
- 13回 獣医療面接の技法を用いた具体的な対応②
- 14回 獣医療面接の技法を用いた具体的な対応③
- 15回 試験前復習
- 16回 前期末試験
- 17回 前期末試験返却
- 18回 クライアントエデュケーション①
- 19回 クライアントエデュケーション②
- 20回 クライアントエデュケーション③
- 21回 クライアントエデュケーション④

- | | |
|------|-----------------|
| 22 回 | クライアントエデュケーション⑤ |
| 23 回 | インフォームドコンセント① |
| 24 回 | インフォームドコンセント② |
| 25 回 | チーム獣医療① |
| 26 回 | チーム獣医療② |
| 27 回 | 動物病院マネジメント① |
| 28 回 | 動物病院マネジメント② |
| 29 回 | 動物病院マネジメント③ |
| 30 回 | ペット保険について |
| 31 回 | 後期末試験 |
| 32 回 | 後期末試験返却 |
| 33 回 | 国家試験対策 |
| 34 回 | 課題 |
| 35 回 | 課題 |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、グループワーク

きょうざい 教材
EDUWARD Press 8

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 じょうたんとく 平常点 20% (しゅっせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり（動物看護師）

動物行動学

（授業概要）

動物を扱う職業にとって不可欠である動物の行動・心理とコミュニケーションについて学ぶ。また行動を導くための学習理論について理解を深め、近年問題意識が高まっている犬と猫の問題行動について詳しく学び、その予防や初期対応を考える。

科	動物看護師学科	教員	中野 あや
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

前期

- ・動物行動学の基礎として、維持行動、社会行動などの行動の発現と発達について理解する
- ・犬と猫のコミュニケーション方法とその意味、発達について理解する

後期

- ・行動を導くための学習理論について理解する
- ・犬と猫の問題行動についての基礎を学び、臨床でよく出会う問題行動について理解を深める

授業計画

- 1回 動物行動学とは・総論・5つの自由
- 2回 猫のコミュニケーション・猫の行動観察（猫使用）（3章-3）
- 3回 犬のコミュニケーション・犬の行動観察（犬使用）（3章-3）
- 4回 動物行動学の歴史、ダーウィンとローレンツ（1章-1）
- 5回 行動の進化と適応・家畜化（1章-2）
- 6回 維持行動（2章）
- 7回 前期前半まとめ、復習
- 8回 社会行動（3章）
- 9回 情動と動機づけ（4章-1）
- 10回 行動に影響を与える要因：遺伝と環境（5章-2）
- 11回 行動の発達と社会化期（5章-1）
- 12回 社会化期をもっと知る
- 13回 学習理論①馴化・感作と脱感作・般化（5章-3）
- 14回 5つの自由（復習）、動物園動物の行動学
- 15回 前期まとめ、復習
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却、解答
- 18回 学習理論②古典的条件づけ（5章-4）
- 19回 学習理論③オペラント条件づけ（5章-4）
- 20回 学習理論④強化・消去・行動形成（5章-4）
- 21回 学習理論について復習

- 22 回 問題行動とは（6 章-1）
- 23 回 後期前半まとめ、復習
- 24 回 行動診療とは、正の罰について（6 章-2,3）
- 25 回 問題行動①犬猫の排泄トラブル（7 章-3）
- 26 回 問題行動②犬猫の不安障害（7 章-2）
- 27 回 問題行動③犬猫の攻撃行動（7 章-3）
- 28 回 問題行動（復習）
- 29 回 問題行動④犬猫の転位行動・常同行動（7 章-4）
- 30 回 問題行動の予防・快適な環境
- 31 回 問題行動⑤動物病院における問題行動
- 32 回 行動診療で用いる その他の療法（6 章-4）
- 33 回 後期の復習、国家試験対策
- 34 回 後期期末試験
- 35 回 後期期末試験返却、解答

授業の方法

講義、プリント

教材

講義資料、犬猫の動画、生体の観察、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

参考図書の紹介、休憩時間の質問対応、授業後にビデオ教材の鑑賞と解説(希望者)

実務経験と授業科目の関係

あり

適正飼養指導論

(授業概要)

愛玩動物の効用や飼養目的などを理解し、適正飼養の推進、災害時の危機管理、動物愛護管理行政のしくみについて理解する

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3 年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

適正飼養が示す内容に基づき、動物の一生涯において、ステージごとの適正飼養について理解する。
終末期ケアについて、自宅看護、グリーフケア、ペットロスの概要、心情を理解し、必要な支援が行えるようになる。

後期

適正飼養の理論だけでなく、動物と家族の幸せな生涯を考え、寄り添った提案ができるようになる。
しつけ指導をはじめ、動物病院で開催されるさまざまな教室について理解する。
災害時のガイドラインを理解し、必要な提案ができるようになる。あわせて、実際に動物看護師が活躍できることについて深めていく

授業計画

- 1 回 授業について
- 2 回 適正飼養とは
- 3 回 動物福祉から考えた適正飼養 1
- 4 回 動物福祉から考えた適正飼養 2
- 5 回 適正飼養と飼育マナー
- 6 回 愛玩動物飼養の現状
- 7 回 終末期ケア 1
- 8 回 一斉インターン
- 9 回 一斉インターン
- 10 回 終末期ケア 2
- 11 回 終末期ケア 3
- 12 回 動物医療グリーフケア ペットロス 1
- 13 回 動物医療グリーフケア ペットロス 2
- 14 回 復習
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返し・解答
- 17 回 災害危機管理と支援 1
- 18 回 災害危機管理と支援 2
- 19 回 動物看護師の役割 1
- 20 回 動物看護師の役割 2

21 回 動物愛護管理行政 1
22 回 動物愛護管理行政 2
23 回 適正飼養の普及啓発 1
24 回 適正飼養の普及啓発 2
25 回 適正飼養の推進
26 回 動物取扱業
27 回 問題行動予防の為の適正飼養 1
28 回 問題行動予防の為の適正飼養 2
29 回 子犬教室
30 回 子猫教室
31 回 国家試験対策
32 回 国家試験対策
33 回 後期期末試験
34 回 後期期末試験返し・解答
35 回 総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
教材

EDUWARD Press10

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、しゆっせきりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

ペット関連産業概論

(授業概要)

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取り扱い責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	河島 英二
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3 年	年間単位時間	35

目標

前期

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解する。

後期

ペット関連産業を構成する業種の概要を理解し、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

授業計画

- 1 回 ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む）～ペット関連産業における責任と社会的役割
- 2 回 商取引における関連法規の概要 1
- 3 回 商取引における関連法規の概要 2
- 4 回 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法 1
- 5 回 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法 2
- 6 回 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法 3
- 7 回 ペットの飼育実態 1
- 8 回 ペットの飼育実態 2
- 9 回 各ペット産業の市場規模 1
- 1 0 回 各ペット産業の市場規模 2
- 1 1 回 各ペット産業の市場規模 3
- 1 2 回 ペット産業自体の市場規模 1
- 1 3 回 ペット産業自体の市場規模 2
- 1 4 回 ペット産業自体の市場規模 3
- 1 5 回 補講
- 1 6 回 前期期末試験
- 1 7 回 前期期末試験解説
- 1 8 回 ペット産業の分類 1
- 1 9 回 ペット産業の分類 2
- 2 0 回 動物病院の現状 1
- 2 1 回 動物病院の現状 2

- 2 2 回 動物病院以外のサービス業の現状 1
- 2 3 回 動物病院以外のサービス業の現状 2
- 2 4 回 生体販売業の現状 1
- 2 5 回 生体販売業の現状 2
- 2 6 回 ペットショップの現状
- 2 7 回 その他のペット産業の現状
- 2 8 回 動物取扱業制度の概要 1
- 2 9 回 動物取扱業制度の概要 2
- 3 0 回 動物取扱責任者として業務を実施するために必要な実践的知識と動物の取扱い方法及び衛生管理 1
- 3 1 回 動物取扱責任者として業務を実施するために必要な実践的知識と動物の取扱い方法及び衛生管理 2
- 3 2 回 後期期末試験
- 3 3 回 後期期末試験解説
- 3 4 回 国家試験対策 1
- 3 5 回 国家試験対策 2

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

EDUWARD Press 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10 巻

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験 80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

獣医師

動物看護ゼミ演習Ⅱ/資格対策

(授業概要)

第四回愛玩動物国家試験合格に向けて試験対策を行う。

本科目は、動物看護ゼミ演習Ⅱと併せて開講する

科	動物看護師学科	きょういん 教 員	三輪
コース	動物看護師特進ゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	3 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×8 コマ

目 標

前期

国家試験と同じ形式の 5 択の問題を多く説き、解説を行う。

一人でも多く愛玩動物国家試験に受かるようにする。

また模試を適宜行い、自分の実力弱点を見出し、対策をする。

後期

より難易度の高い 5 択問題を一問でも多く回答し、解説し国家試験本番に備える。

授 業 計 画

- 1 回 授業について 国家試験対策問題試験・解説
- 2 回 第 1 回 模試
- 3 回 第 1 回 模試解説
- 4 回 国家試験対策問題試験・解説
- 5 回 国家試験対策問題試験・解説
- 6 回 国家試験対策問題試験・解説
- 7 回 国家試験対策問題試験・解説
- 8 回 一斉インターン実習
- 9 回 一斉インターン実習
- 10 回 国家試験対策問題試験・解説
- 11 回 国家試験対策問題試験・解説
- 12 回 第 2 回 模試
- 13 回 第 2 回 模試解説
- 14 回 国家試験対策問題試験・解説
- 15 回 国家試験対策問題試験・解説
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験返却解説
- 18 回 国家試験対策問題試験・解説
- 19 回 国家試験対策問題試験・解説
- 20 回 国家試験対策問題試験・解説
- 21 回 第 3 回 模試

22 回 第 3 回 模試解説
23 回 国家試験対策問題試験・解説
24 回 国家試験対策問題試験・解説
25 回 国家試験対策問題試験・解説
26 回 国家試験対策問題試験・解説
27 回 国家試験対策問題試験・解説
28 回 第 4 回 模試
29 回 第 4 回 模試解説
30 回 国家試験対策問題試験・解説
31 回 国家試験対策問題試験・解説
32 回 後期期末試験
33 回 後期期末試験返却解説
34 回 国家試験対策問題試験・解説
35 回 国家試験対策問題試験・解説

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

座学

きょうざい 教材

Eduwards Press 愛玩看護師国家試験完全対策問題集 2025 年度版
緑書房 愛玩看護師国家試験 完全攻略！問題＆解説集 2025 年度版

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20%（しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

放課後の小テスト・自主学習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

動物疾病看護学 C

(授業概要)

動物感染症学各論に位置する動物感染症ならびに公衆衛生学に位置する人獣共通感染症を対象に、広く動物に関わる諸感染症に対する理解を深める。診断や治療の方面まで追求し、国家試験対策とする。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×2コマ

目標

前期

動物のみが罹患する代表的な感染症について学習する。単にイヌやネコだけではなく、広く動物全般に領域を広めたうえで、総合的に感染症というものに対する理解を広める。

後期

動物と人に共通する、あるいは動物から人に感染する疾病を学習する。動物の感染症の多くが実はこの分野に含まれるため、国家試験対策として重要である。

授業計画

- 1回 犬と猫の重要な感染症（ウイルス性感染症1）
- 2回 犬と猫の重要な感染症（ウイルス性感染症2）
- 3回 犬と猫の重要な感染症（ウイルス性感染症3）
- 4回 犬と猫の重要な感染症（細菌性感染症1）
- 5回 犬と猫の重要な感染症（細菌性感染症2）
- 6回 犬と猫の重要な感染症（真菌性感染症その他）
- 7回 その他の犬と猫の感染症（ウイルス性/細菌性）
- 8回 産業動物の感染症（ウイルス性感染症1）
- 9回 産業動物の感染症（ウイルス性感染症2）
- 10回 産業動物の感染症（細菌性感染症/その他）
- 11回 実験動物の感染症（ウイルス性感染症）
- 12回 実験動物の感染症（細菌性感染症）
- 13回 エキゾチックペットと野生動物の感染症（ウイルス性/細菌性）
- 14回 エキゾチックペットと野生動物の感染症（細菌性/真菌性）
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験返却 解答
- 17回 人獣共通感染症（ウイルス性感染症1）
- 18回 人獣共通感染症（ウイルス性感染症2）
- 19回 人獣共通感染症（ウイルス性感染症3）
- 20回 人獣共通感染症（ウイルス性感染症4）
- 21回 人獣共通感染症（ウイルス性感染症5）

- | | |
|------|------------------------|
| 22 回 | 人獣共通感染症（細菌性感染症 1） |
| 23 回 | 人獣共通感染症（細菌性感染症 2） |
| 24 回 | 人獣共通感染症（細菌性感染症 3） |
| 25 回 | 人獣共通感染症（細菌性感染症 4） |
| 26 回 | 人獣共通感染症（寄生虫性感染症 1） |
| 27 回 | 人獣共通感染症（寄生虫性感染症 2） |
| 28 回 | 人獣共通感染症（寄生虫性感染症 3） |
| 29 回 | 人獣共通感染症（寄生虫性感染症 4） |
| 30 回 | 人獣共通感染症（新興感染症と再興感染症 1） |
| 31 回 | 人獣共通感染症（新興感染症と再興感染症 2） |
| 32 回 | 後期期末試験 |
| 33 回 | 後期期末試験返却 解答 |
| 34 回 | 人獣共通感染症（狂犬病について） |
| 35 回 | 予備日 |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
自作のテキストによる講義。

きょうざい 教材
特になし。学校推薦の参考書程度。

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 しゅつせきりつ 平常点 20%（ じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物愛護・適正飼養実習

(授業概要)

愛玩動物の効用や飼養目的などを理解し、適正飼養の推進について指導する

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3 年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

ステージごとの適正飼養について、各々家族に寄り添った指導ができるようになる。

病院で行われる教室、教育について学ぶ。

後期

適正飼養について、待合教育、教室開催ができるようになる。

災害危機管理と支援について、動物看護師ができることを実現する。

授業計画

- 1 回 授業について 挨拶、姿勢、身だしなみ、所作
- 2 回 適正飼養 指導 1
- 3 回 適正飼養 指導 2
- 4 回 適正飼養 指導 3
- 5 回 適正飼養 指導 4
- 6 回 適正飼養 指導 5
- 7 回 適正飼養 指導 6
- 8 回 一斉インターン
- 9 回 一斉インターン
- 10 回 終末期ケア 1
- 11 回 終末期ケア 2
- 12 回 終末期ケア 3
- 13 回 グリーフケア・ペットロス 1
- 14 回 グリーフケア・ペットロス 2
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期試験返し・解答
- 17 回 災害危機管理に関する指導 1
- 18 回 災害危機管理に関する指導 2
- 19 回 災害危機管理に関する指導 3
- 20 回 災害危機管理に関する指導 4
- 21 回 適正飼養の普及啓発 1
- 22 回 適正飼養の普及啓発 2
- 23 回 適正飼養の普及啓発 3
- 24 回 問題行動・しつけ指導 1

25 回 問題行動・しつけ指導 2
26 回 問題行動・しつけ指導 3
27 回 問題行動・しつけ指導 4
28 回 問題行動・しつけ指導 5
29 回 問題行動・しつけ指導 6
30 回 教室開催
31 回 国家試験対策
32 回 国家試験対策
33 回 後期期末試験
34 回 後期期末試験返し・解答
35 回 総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
教材

EDUWARD Press10

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（しゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり

動物看護総合実習

(授業概要)

実際の動物診療施設で診療業務に参加し、学内で学んだ内容を統合する。また、診療施設の概要や機能について学ぶとともに、獣医師、動物看護師との連携や顧客対応を通じ、愛玩動物看護師としての役割や責任を理解する。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	三輪 喬太
コース	動物看護師特進ゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	3 年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	110

目標

前期

実際の動物診療施設での診療業務に参加し、その成果をレポートとして整理報告することができる

後期

インターンでの学習内容を実践へと展開し、就職や国家試験対策に活用することができる

授業計画

1～3 4回 インターン実習 1～10日目（日誌・レポート）

3 5回 インターン実習の振り返り（レポート作成・提出）

授業の方法

実習

教材

なし

評価の方法

試験評価（実習レポート、実習先からの評価シート）80%、実習日誌 20%

授業外での学習方法

特になし

実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護実習

(授業概要)

動物臨床看護学について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

代表的な各疾患について理解し、その疾患に準じた看護方法について理解する。

後期

主要な病態期に動物の状態を理解し、看護方法を理解する。

SOAP方式の看護記録を作成できるようになる。

授業計画

- 1回 授業について、代表的な兆候の理解と対処①
- 2回 代表的な兆候の理解と対処②・呼吸器疾患
- 3回 循環器疾患
- 4回 消化器疾患
- 5回 内分泌疾患
- 6回 血液疾患・免疫介在性疾患
- 7回 皮膚疾患
- 8回 一斉インターン
- 9回 一斉インターン
- 10回 感覚器疾患
- 11回 神経疾患・整形外科疾患
- 12回 排泄物生涯を伴う疾患
- 13回 生殖器疾患
- 14回 胆がん動物の看護
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験返却
- 17回 動物看護過程について①
- 18回 動物看護過程について②
- 19回 診療記録について①
- 20回 診療記録について②
- 21回 健康期の動物看護
- 22回 老齢期の動物看護①
- 23回 老齢期の動物看護②
- 24回 急性期の動物看護①

- 25 回 急性期の動物看護②
- 26 回 慢性期の動物看護①
- 27 回 慢性期の動物看護②
- 28 回 慢性期の動物看護③
- 29 回 ターミナルケアと看取り
- 30 回 動物看護計画実施①
- 31 回 動物看護計画実施②
- 32 回 動物看護計画実施③
- 33 回 試験について
- 34 回 後期期末試験
- 35 回 後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学・実習

きょうざい
教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9 巻

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20% (しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

幼齢・高齢ケア

（授業概要）

動物病院で多く対応することとなる高齢動物および幼齢動物について、しつけ、予防指導、健康管理、頻発疾患の理解、自宅でおこなえるケアなどについて理解を深め、飼主への説明に必要な知識を増やす。また、近年問題意識が高まっている認知症や高齢期の緩和医療、看取りについて学ぶ。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	中野 あや
コース	動物看護師特進ゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	3年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

- ・ 幼齢動物の頻発疾患と社会化についての学びを通して、心身の健康管理について学ぶ。
- ・ 幼齢期の適正飼養について飼主に指導するスキルを身につける。

後期

- ・ 高齢動物の頻発疾患と健康管理、介護、緩和医療と看取りについて具体的な知識を増やす。
- ・ 高齢期の動物と暮らす飼い主の心に寄り添う声かけや自宅ケアのスキルを身につける。

授業計画

- 1回 総論・授業の説明
- 2回 子犬・子猫の発達ステージ
- 3回 子犬・子猫の飼育管理
- 4回 心の発達と社会化期と行動（犬）
- 5回 ワクチネーションと社会化期
- 6回 心の発達と社会化期と行動（猫）
- 7回 前期前半まとめ、復習
- 8回 不妊手術について
- 9回 子犬に多い疾患：兆候と予防
- 10回 子犬外来とパピークラス①
- 11回 子犬外来とパピークラス②
- 12回 子猫に多い疾患：兆候と予防
- 13回 子猫外来とキトンクラス
- 14回 前期まとめ、復習①
- 15回 前期まとめ、復習②
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却、解答
- 18回 高齢期のライフステージ
- 19回 高齢犬の予防医療とホームケア
- 20回 高齢犬に多い疾患①
- 21回 高齢犬の疾患②認知症

- 22 回 高齢犬の疾患と行動
- 23 回 高齢犬の介護①
- 24 回 高齢犬の介護②
- 25 回 高齢動物の緩和医療と看取り・グリーフケア
- 26 回 後期前半まとめ、復習
- 27 回 高齢猫の予防医療とホームケア
- 28 回 高齢猫に多い疾患①
- 29 回 高齢猫に多い疾患②
- 30 回 高齢猫の介護①
- 31 回 高齢猫の介護②
- 32 回 後期のまとめ、復習
- 33 回 総合復習、試験対策
- 34 回 後期期末試験
- 35 回 後期期末試験返却、解答

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、プリント、資料動画視聴

きょうざい 教材

講義資料、プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、
 じょうじょう 平常点 20%
 (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

参考図書の紹介、休憩時間の質問対応

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

グルーミング概論実習Ⅲ

(授業概要)

グルーミング技術及び保定技術の向上を目指す。
中型・大型犬種のグルーミング、保定技術を学ぶ。
全身バリカンの方法を理解し技術を身につける。

科	動物看護師学科	教員	中井 洋子
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×5 コマ

目標

前期

1日で1人1頭グルーミングをこなす。
ベーシックマスターライセンス全員取得を目指す。
時間を意識しながら犬に負担がかからない保定技術を習得する。

後期

全身バリカンの技術を習得する
嫌がる犬の保定技術を身に付け、どんな犬でも扱えるようになる

授業計画

- 1回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 2回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 3回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 4回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 5回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 6回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 7回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 8回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 9回 グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 10回 ライセンス試験・グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 11回 ライセンス試験・グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 12回 ライセンス試験・グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 13回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 14回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 15回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 16回 モデルグルーミング（全身バリカン）
- 17回 グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭）
- 18回 グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭）
- 19回 グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭）
- 20回 グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭）

- | | |
|------|--------------------------|
| 21 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 22 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 23 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 24 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 25 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 26 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 27 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 28 回 | グルーミング実習・全身バリカン（1～2人で1頭） |
| 29 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |
| 30 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |
| 31 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |
| 32 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |
| 33 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |
| 34 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |
| 35 回 | グルーミング実習（1～2人で1頭） |

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

ブリーダー犬、一般犬を用いての実技実習

きょうざい
教材

グルーミングマニュアル

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物栄養学Ⅱ

(授業概要)

栄養や食事病や病的症状の直接的原因となるケースは多い。肥満、食物アレルギー、尿石症などの疾患と食餌の関連性を中心に授業を進める。

学科	動物看護師学科	きょういん 教 員	松嶋 周一
コース	動物看護師特進ゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	3 年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

犬と猫の接食行動、尿石症および慢性腎症の食事管理

後期

肥満、皮膚・アレルギー疾患、消化器系、肝疾患、糖尿病、心血管系、高脂血症、骨関節、口腔、担癌、救急等の食事管理

授 業 計 画

- 1 回 栄養学Ⅰの復習①
- 2 回 栄養学Ⅰの復習②
- 3 回 栄養学Ⅰの復習③
- 4 回 猫の摂食行動Ⅰ
- 5 回 猫の摂食行動Ⅱ
- 6 回 犬の摂食行動
- 7 回 尿石症の食事管理Ⅰ
- 8 回 V3一斉インターンシップ実習
- 9 回 V3一斉インターンシップ実習
- 10 回 尿石症の食事管理Ⅱ
- 11 回 慢性腎臓病の食事管理Ⅰ
- 12 回 慢性腎臓病の食事管理Ⅱ
- 13 回 肥満の食事管理Ⅰ
- 14 回 前期復習
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返却、解答・解説
- 17 回 肥満の食事管理Ⅱ
- 18 回 消化器系の食事管理
- 19 回 肝疾患の食事管理
- 20 回 栄養性皮膚疾患
- 21 回 愛犬は食物アレルギー
- 22 回 皮膚疾患脱毛の原因
- 23 回 心血管疾患の食事管理
- 24 回 骨関節の食事管理

25 回 口腔疾患の食事管理
26 回 担癌動物の食事管理
27 回 高脂血症の食事管理
28 回 栄養と免疫Ⅰ
29 回 栄養と免疫Ⅱ
30 回 猫の糖尿病
31 回 後期復習
32 回 後期期末試験
33 回 後期期末試験返却、解答・解説
34 回 クリティカルケア時の栄養Ⅰ
35 回 クリティカルケア時の栄養Ⅱ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、問題演習

きょうざい 教材

ヒルズ製品による食事管理の手引き、ROYAL CANIN プロダクトブック 2022

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

栄養学で得た知識を基に、自身のペットのフードの内容を確認する。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

動物に対する栄養学の知識は、顧客のペットの食への懸念を解決するための、重要なコミュニケーション手段になる

動物関連法規学Ⅱ

(授業概要)

愛玩動物看護師及び愛玩動物看護師国家試験に必要な知識を身につけるために、主に獣医師法、獣医療法、愛玩動物看護師法及び各種関連法規について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	井田 竜馬
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

前期

獣医師法、獣医療法、愛玩動物看護師法など獣医療に関係する法律を理解できるようになる。

後期

薬機法、麻薬取締法、廃棄物処理法など主に薬事衛生分野に関係する法律を理解できるようになるとともに、動物愛護法や狂犬病予防法についてはしっかりと復習し理解できるようにする。

授業計画

- 1回 法令の概要、犬猫飼育頭数など
- 2回 獣医師法 (1) 獣医師法の概要
- 3回 獣医師法 (2) 獣医師の任務、権利 (主に第 17 条飼育動物診療業務の制限)
- 4回 獣医師法 (3) 診療とは
- 5回 獣医師法 (4) 獣医師の義務 (無診察深慮の禁止)
- 6回 獣医師法 (5) 獣医師の義務 (応召義務、カルテの保存義務など)
- 7回 獣医師法 (6) 免許取消や罰則など
- 8回 愛玩動物看護師法 (1) 法の概要
- 9回 愛玩動物看護師法 (2) 業務内容
- 10回 愛玩動物看護師法 (3) 欠格事由など
- 11回 前期復習
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 獣医療法 (1) 法の概要
- 15回 獣医療法 (2) 飼育動物診療施設の開設など
- 16回 獣医療法 (3) 獣医療に関する広告制限その 1
- 17回 獣医療法 (4) 獣医療に関する広告制限その 2
- 18回 身体障害者補助犬法 (1) 法の概要
- 19回 身体障害者補助犬法 (2) 身体障害者補助犬の定義
- 20回 身体障害者補助犬法 (3) アクセスの保証など
- 21回 薬機法 (1) 法の概要
- 22回 薬機法 (2) 劇薬と毒薬の保管など

- 23 回 麻薬取締法 麻薬の保管、麻薬施用者制度など
- 24 回 廃棄物処理法（1）法の概要
- 25 回 薬機法（2）医療廃棄物の定義、バイオハザードマークなど
- 26 回 後期復習
- 27 回 後期期末試験
- 28 回 後期期末試験返却
- 29 回 外来生物法
- 30 回 ワシントン条約、ラムサール条約
- 31 回 動物愛護法の復習（1）
- 32 回 動物愛護法の復習（2）
- 33 回 狂犬病予防法の復習（1）
- 34 回 狂犬病予防法の復習（2）
- 35 回 3 年総復習

授業の方法

講義

教材

テキスト、自作のプリント

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

実務経験と授業科目の関係

あり